

雨にも負けずエゾ地の火まつり開催

8月14日、毎年恒例のエゾ地の火まつり（同実行委員会主催）が開催され、時折、雨が降り注ぐ悪天候にもかかわらず約5000人が訪れました。

昼の部では、「KURO」さんによるジャグリングショー、「ピエロのグッチ」さんのパルーションショーで会場を盛り上げたほか、昨年に引き続き「真夏のクイズまつり」、「2018水合戦選手権大会」、「よせてあててゲートアンドパーク」、「山岳村」が行われました。また、高校生バンドなど3組が出演したバンド演奏では、昨今のヒットナンバーが披露されました。

祭りの囃子を奏でながら上ノ国小学校前に展示されたほか、五十嵐浩晃さんによるスペシャルライブでは、「ペガサスの朝」など6曲が披露され、来場者を魅了していました。

また、北海道大学「縁」によるYOSAKOIソーランの演舞が披露され、その後の盆踊りでは、老若男女がやぐらを囲み上ノ国音頭などに合わせ、楽しそうに踊っていました。

クライマックスのたいまつ明かし、ドラゴンファンタジーでは、上ノ国鼓友会の龍焰太鼓とともに高さ5メートルのたいまつ8本に炎がともされ、花火が打ち上げられると、観客は雨も気にせず上空に咲く大輪の花に見とれていました。



かささぎロードを美しく



お盆を迎えるにあたり、大留地区から上ノ国地区にかけて国道（かささぎロード）の花壇の美化活動が行われました。

このうち、上ノ国女性会では、8月3日に、会員8人が参加して行われた川の川橋から約400メートルの区間を約2時間ほどかけ雑草を取り除いたほか、上ノ国町内会、大留町内会、中央区町内会でも、お盆まで清掃活動を実施しました。

また、かささぎロード一帯で咲き誇っているあじさいは、地域住民が育てたものが移植されているそう、きれいになったかささぎロードで帰省客などをお出迎えしていました。

汐吹女性部が2年連続の優勝 函館ペリーボート競漕女子の部

7月29日、函館市若松ふ頭で開催された「函館開港159周年記念函館港まつり協賛函館ペリーボート競漕」の女子の部で汐吹地区出身者を中心で編成された「汐吹女性部」が10チームによるトナメント戦を勝ち抜き、2年連続で優勝しました。

この競漕は漕ぎ手や舵取りなど8人が乗り組んだ手漕ぎボートで往復150メートルのスピードを競うもので、汐吹女性部は、出場チーム中で最速タイムを記録するなど終始安定したレース運びを見せました。

漕ぎ手の一人で活躍した小間優子さんは「昨年とメンバーが入れ替わったが息を合わせて漕ぐことができたことが勝因だと思えます。」と話していました。

また、42チームが参加して行われた男子の部では「小林建設」が3年ぶりの入賞となる3位となり、上ノ国勢が活躍しました。

